

会議録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		平成29年度 第3回総合教育会議
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		平成30年3月14日(水) 午前10時00分～午前11時30分
開催場所		教育委員会室(本庁舎8階)
案件		(1)平成30年度豊島区教育委員会重点施策について (2)平成30年度豊島区教育委員会教育目標について
公開の 可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	高野区長・三田教育長・藤原教育長職務代理者・樋口委員・北川委員・白倉委員
	事務局	政策経営部長・教育部長・企画課長・学習スポーツ課長(東京オリンピック・パラリンピック連携担当課長兼務)・セーフコミュニティ推進室長(多文化共生推進担当課長兼務)・庶務課長・学務課長・放課後対策課長・学校施設課長・指導課長・教育センター所長・統括指導主事・企画課企画調整グループ・庶務課庶務グループ、教育政策担当

○企画課長

ただいまから平成29年度第3回総合教育会議を始めさせていただきます。

本日、傍聴者はいらっしゃいません。

なお、関係部局の渡邊明日香セーフコミュニティ推進室長兼多文化共生推進担当課長及び藤田力学習・スポーツ課長兼東京オリンピック・パラリンピック連携担当課長にご出席いただいております。

それでは、議事進行につきましては、会長であります高野区長より、お願いいたします。

○高野区長

皆様、おはようございます。本日は大変お忙しい中、第3回総合教育会議にご出席いただきまして、感謝を申し上げます。早いもので総合教育会議も今年度最後の回になりました。

これまで教育委員の皆様と非常に活発な議論をさせていただき、素晴らしい成果が上がったと思っております。特にすべての学校のトイレの改修が進み、いろんな機会に学校にお邪魔するたびに、皆さんからトイレを気持ちよく使えるとご好評をいただきますが、この会議でご提案いただいたことがベースになっております。また、子どもスキップが教育委員会に移管されましたが、10年をかけて全小学校22校に開設され、教育施策の充実に繋がったと思います。

さて、お手元に日本経済新聞3月8日号をご用意しておりますが、日経新聞や日経デュアルに、豊島区が「共働き世代が子育てしやすいまちランキング」の全国総合第1位に選ばれたという記事が掲載されております。昨年12月に表彰式に出席しましたが、そのときに私と、23区を除いた全国トップであった松戸市長、編集長、審査委員の皆さんとパネルディスカッションを行いました。豊島区が11項目にわたる審査の結果、1位に選ばれたということですが、消滅可能性都市の豊島区がなぜ1位なのか、と皆さん異口同音に驚かれており、大変誇らしく思いました。これもやはり、総合教育会議で子どもスキップの移管、教育施策の充実等が取り上げられた成果であると思います。先日訪問したところ、利用する児童が満員の状態であるという状況がわかり、区長部局と教育委員会で緊急の会議を開催して対策を検討し、現在予算特別委員会でもこの問題が取り上げられております。

もう一つは東アジア文化都市についてです。来年がいよいよ開催年であり、既に1年を切っています。文化庁の全面バックアップのもと豊島区が日本を代表する都市として、中国、韓国の選定都市と文化交流を行い世界に発信していきます。中国、韓国と緊密な連携を取りながら、豊島区が世界に文化を発信するチャンスを与えられたのであります。豊島区は国際アート・カルチャー都市をめざしているところですが、私は、まちづくりの基本は教育であると考えております。教育とそして、さらに、文化を中心としたまちづくりを進めるという意味での国際アート・カルチャー都市であると思います。

さて、旧庁舎や公会堂、区民センター跡地での建設工事が旧ピッチで進められております。石造りの今までにないようなデザインで、Har ez a池袋という名称も決定し、完成が刻々と近づいております。池袋全体で文化と教育という街づくりが進んでいると思っております。

それでは議題に入ります。本日の議題は、議題1「平成30年度豊島区教育委員会重点施策について」です。この重点施策につきましては、次回の総合教育会議において、審議予定の「平成30年度教育大綱」に盛り込む予定となっております。それでは事務局より説明をお願いいたします。

○庶務課長より事業内容等説明

「重点施策Ⅰ 子供の未来を応援する対策（1）ICTを活用した学習活動の推進」について

○放課後対策課長より事業内容等説明

「重点施策Ⅰ 子供の未来を応援する対策（2）子どもスキップ事業の充実」について

○指導課長より事業内容等説明

「重点施策Ⅱ 健やかな心と体の育成（2）健康に関する教育の推進」について

○学務課長より事業内容等説明

「重点施策Ⅲ 幼児教育の充実（1）幼児教育の質の向上」について

○指導課長より事業内容等説明

「重点施策Ⅳ 国際社会に生きる人材の育成（3）多文化共生の取組み」について

○多文化共生推進担当課長より事業内容等説明

「豊島区外国人区民意識ヒアリング調査の結果」について

○指導課長より事業内容等説明

「重点施策Ⅴ 安全・安心な学校づくり（1）インターナショナルセーフスクールの全校化」について

○学校施設課長より事業内容等説明

「重点施策Ⅵ 学校改築及び施設改修（1）計画的な学校改築（2）学校施設の長寿命化改修計画策定（3）学校トイレ緊急改善推進事業」について

○庶務課長より事業内容等説明

「重点施策Ⅶ 教職員の働き方改革（1）働き方改革推進プランの作成」について

○庶務課長

平成30年度の豊島区教育委員会重点施策につきましては、以上の通りでございます。

○高野区長

只今、事務局より「平成30年度豊島区教育委員会重点施策」についてご説明がありました。各委員の皆様からご意見をいただきたいと思ひます。

○藤原教育長職務代理者

ご説明ありがとうございます。子供の未来を応援する施策から始まり、教職員の働き方改革まで、大変充実した内容であると感じました。心から感謝申し上げます。また、これだけの施策に裏付けられた学校教育が推進されるということは、児童・生徒にとっても、保護者にとっても、地域にとっても大変幸せなことだと思ひます。

とりわけ重点施策Ⅴの「インターナショナルセーフスクールの全校化」は大変関心をもって聞かせていただきました。中学校ブロックごとに1校以上の国際認証を目指すということで、非常に重要なことであると思ひます。各校がノウハウを共有しながら全校化を目指すということは、今後大きな流れを作っていくと思ひます。小中学校の連携が叫ばれていますが、インターナショナルセーフスクールの全校化を通し、ますます連携が進むのではないかとと思ひます。

また、安全・安心な学校づくりは子供だけでも学校だけで出来ることではなく、保護者の方、地域の方と一体となって進めることが極めて重要だと思ひます。安全・安心がなければ笑顔で子供たちが学校生活を送ることはできませんし、集中した学習も安全・安心があつて初めて出来ることだと思ひます。豊島区が共働き世帯が子育てしやすいまちランキングで1位になったということですが、背景には安全・安心な学校づくりがあると思ひます。

また、安全・安心についてはきめ細やかなデータと指標に基づいて問題解決を図ることから、「学校力」や「地域力」が高まると思ひます。「学校力」が高まるということは、豊島区のセーフコミュニティを支えていく原動力になるということで、将来への投資だと思ひます。こうした取り組みに予算をつけることは非常に重要だと思ひます。

また、平成30年度から新しい学習指導要領に移行しますが、これからは地域と一体となった、地域に開かれた学校教育が重要だと思ひますが、その基本になるのもセーフスクールの取組みであると思ひます。地域と一体となって問題解決能力を高めるためにも、セーフスクールの取組みにますます力を入れられるとよいと思ひます。

○高野区長

ありがとうございます。次に、樋口委員からお願いいたします。

○樋口委員

ご説明ありがとうございます。これからの教育において検討しなければならないことが盛り込まれていると感じました。その中でも特に、公立幼稚園のあり方の検討に期待しております。子育てしやすいまちランキング第1位であるということは、乳幼児が増えるのが明らかであるということです。どうしたら保護者のニーズに応えられるか、新たな視点での検討も始まっています。さらに議論を深めたいと思ひます。

もう一つは教員の働き方改革でございます。紙面やニュースでもこのところ話題となっている問題です。私は対策の視点は二つあると思っています。一つは意識改革です。これは教員の意識改革だけではなく、保護者の方や地域の方にもご理解いただきたいです。教員だけ意識改革といっても難しいと思います。二つ目は現在の学校活動の中身の精選や組織体制の見直しです。時間ばかりがクローズアップされていますが、教員が学校にいる時間を減らしても、家に持ち帰って処理せざるをえないというのが現実です。内容を精選していかなければ時間は生まれませんと思います。

そこで、校長であった私の経験からいくつか申し上げます。一つは校務分掌をもう一度見直し、重複や漏れをなくしていくことです。二つには、先生方が個人で作成している教材や資料を学校のものとして共有していけば、同じようなものを先生ごとに作らなくてもよいはずです。教材や教具を学校のものとして共有、可視化することが大事だと思います。三つには、中学校の部活動に対する考え方です。これは先程申し上げたように教員だけでは変えられない点です。部活動は教育において大事な意味を持っており、部活動が強いからといった理由で学校を選ぶ方もいらっしゃると思いますが、そういったことに対して意識啓発ができればと思っています。

次に行政側のことです。一つは、これは先程の説明の中でもありましたが、私も調査やアンケートが多すぎると思います。他の課から来たアンケートと似ているものも多々あったので、そうした調査やアンケートの中で、活用出来るものはお互いに活用していただけたらありがたいと思います。二つには、地域の中の学校ということはわかっておりますが、校長や副校長の土日の出勤の割合が非常に高いことです。ある校長は地域の活動に必ず来てくれるからいい校長で、別の校長はあまり来てくれない、という話も聞かないわけではありません。地域と学校の行事のあり方についてお互いに連携し啓発をしていけたらと思います。中身を考えていくことで時間を生み出すことが出来ると嬉しいです。

○高野区長

ありがとうございます。それでは北川委員からお願いいたします。

○北川委員

重点施策の中で子どもの未来を応援するとありましたが、保護者としては、入学前から自分の子供はどのように育っていくのだろうと思い描きながら子育てをしていると思います。その中で豊島区の教育が子供の未来にどのような財産を残してくれるのか、大きな関心事項だと思います。平成29年度に放課後対策事業についても教育委員会に移管され、約一年がたちましたが、学校にいる時間から放課後まで一貫して管理出来る、災害等があったときの連絡体制も一元化出来るということは、保護者にとっても有用な情報が入手出来るということで非常にありがたいと思います。ただこういうことが実現されるにあたり、安全・安心が何より大事だと思います。たくさん保護者が子どもスキップの利用を希望しています。子どもスキップができた10年前から比べると、共働き世帯やひとり親の増加など、家庭の様子も変わってきていると思います。放課後も安心して保護者が働ける環境を作ると

いうことは、特に小学校低学年のうち、学校という安心出来る場所でのびのびとすごすことができ、また他の学年や地域の方との交流といった体験が出来るということだと思えます。

放課後子ども教室もそうですが、地域の方が非常に関わってくださっているのが豊島区の放課後対策の特徴だと思います。インターナショナルセーフスクールやセーフコミュニティの取組みで地域の方も積極的に関わるようにといわれても、実際にどのように関わればよいかわからないと思いますが、こうした放課後対策がその窓口になっていると思います。地域の方が子供たちに目を向ける良いきっかけとなっておりますし、セーフスクールの認証を取得した学校では、放課後に地域の方と開いている懇談会をより多く開催する動きも出ています。安全・安心な学校づくり、放課後の居場所づくりや放課後を活用した子供たちの学力定着に、こうした放課後対策が役立っていると思います。今後も有効な放課後の過ごし方を考えてほしいと思います。そのために必要なのが評価だと思います。利用状況についてきちんと検証し、ご意見を取り上げる必要があると思います。

○高野区長

ありがとうございます。それでは白倉委員からお願いいたします。

○白倉委員

いろいろご説明ありがとうございます。私からはがん教育について取り上げたいと思います。

健康に関する教育は小学校6年生では体育で、中学校3年生では保健体育で行われています。また、ご存じのように日本人の死因上位3つはがん、心疾患、脳疾患で、毎年100万人以上ががんに罹患しています。豊島区でも死因のトップはがんです。今回、施策の中で、がんに関する専門家による講演会を開催し、がんに関する正しい知識を啓発し、がんにならない健康な身体づくりを推進することで、がんの早期発見と早期治療が実現でき、区民の健康上の脅威は大きく軽減すると思います。私は、未然防止と早期発見はいじめ対策と似ていると思います。

また歯と口腔の健康づくりについては、学校と歯科医師会が連携し年に2回、春と秋に歯科検診を行い、また全小中学校全学年で歯ブラシを使った正しい歯磨きの仕方を指導しています。それから口腔保健指導を行う歯科の保健講話も実施されております。

私が学校歯科医会の会長をしていたとき、洗口所の設置を高野区長にお願いしたところ早速ご対応いただき、現在は全校で給食後の歯磨きを実施しており、これによりインフルエンザの罹患率が低減されていると確信しております。

子供たちの口腔保健の向上、健康の保持のさらなる充実を期待しております。

○高野区長

貴重なご意見ありがとうございます。それでは教育委員会から各委員のご意見について、出来る範囲で結構ですので、回答をお願いいたします。

○庶務課長

先程樋口委員から働き方改革について貴重なご意見をいただきました。やはり職員の意識改革が必要であり、また地域や保護者の理解、組織の見直しも必要だとのこと指摘をいただきました。教育現場についてまだ把握できていないところもございますので、学校に入っていく、何が問題なのか把握したいと思います。また、教材の共有などもごもっともだと思います。そういった出来るところから改善につなげていきます。また教育委員会の中でも調査を多数実施しておりますので、各課で必要な情報は何か、乱発していないか、出来るところから見直していく、働き方改革プランを作ってまいります。

○放課後対策課長

北川委員からご意見いただき、ありがとうございます。北川委員には放課後子ども教室のコーディネーターも務めていただき、子どもスキップや学校の現場をよくご存じのうえでご意見をいただき、感謝申し上げます。

子どもスキップにおいて安全・安心が一番大事であるということ、地域の皆様のご協力を得て放課後子ども教室や子どもスキップが成り立っているということはまさにその通りだと思います。子ども懇談会も、たとえば子どもスキップ仰高の委員長がとても前向きな方で、学期ごとに1回ずつ、今年度も3回懇談会を開催しているということでございます。

先程ご提言いただいた放課後対策事業の評価についてですが、これは前向きに検討させていただきます。教育委員会に移管後のご意見を聞いてみたい気持ちもありますので、是非やってみたいと思います。

○高野区長

それでは次に指導課長からお願いします。

○指導課長

藤原委員から貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。現在、小学校では子どもたちが主体的に取り組むことができていると思います。特に、高学年の児童が低学年の児童の安全・安心についても考え取り組んでいることが非常に大きいと思います。また、昨年、池袋中学校の現地審査がありましたが、中学校での初期消火に地域の消防団にご協力いただいたり、災害時に小中学校が避難所としての役割を果たすことから地域の方と一緒にテント貼りを行なったり、防災危機管理課と共同でマンホールトイレの設置や使い方を訓練したり、医師会とともに包帯の巻き方等手当の仕方を学んだりするなど、保護者や地域の方が一体となった取り組みを実施できていると思います。

また、がん教育について白倉委員からご意見をいただき、ありがとうございました。本区では明豊中学校の校長が自らもステージの高いがん患者であり、自らを教材として生徒に語りかけたり、東京女子医科大学の林教授をお招きして、がんのしくみを教えていただいたりしたほか、がんにならないための体作りなど健康教育の一環としての取り組みも実施しま

した。

安全・安心・健康な子供たちを育成してまいりたいと思います。ありがとうございました。

○高野区長

ありがとうございました。次に学務課長からお願いします。

○学務課長

幼児教育について樋口委員からエールをいただき、ありがとうございました。昨年から2年間にわたり、公私幼保の垣根を越えて検討をしてまいりました。どこの施設に行っても一定程度の質を確保し、子供がスムーズに小学校に上がることが出来るよう検討をしていきたいと思っています。

白倉委員からは歯科検診のお話をいただき、ありがとうございました。春と秋の2回実施している例は少ないのですが、本区は春の健診で虫歯を発見し、秋の健診で治療できているかチェックする、といったことが可能です。給食後の歯磨きは全校で実施していますが、これが実現できているのは23区では恐らく豊島区だけだと思います。これからも子供たちの健康のために確実に進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

○高野区長

それでは学校施設課長からお願いします。

○学校施設課長

委員の皆さん、貴重な意見をありがとうございました。特に子どもスキップについては施設整備面についても平成29年度から教育委員会に移管され、学校現場や教育委員会事務局の意識が「学校の子供もスキップの子供も、皆同じ子供」という風になってきて、スキップの整備を強化しているところです。移管からまだ1年なのでそれほど事例は多くありませんが、今後も子どもたちの環境改善を進めてまいります。

また白倉委員からご意見いただいた洗口所ですが、効果があるということで力強いご支援をいただきましたので、こちらについても学校施設の整備と合わせて少しずつではありますが整備を進めてまいります。

○高野区長

ただいま委員の皆さんからのご質問ご意見について、現状を踏まえた回答や説明を差し上げました。教育委員会の皆さんからこれについて付け加えてご意見等がありますか。

○藤原教育長職務代理者

さまざまな施策がきめ細かく計画的に実施されることで、保護者の方はどれだけ安心できるようになりました。総合教育会議の場でそれをさらに前進させることができればと思います。ありがとうございました。

○高野区長

他に何かございませんか。なければ、教育長からまとめの言葉をお願いします。

○三田教育長

ありがとうございます。総合教育会議ができてから、成果がひとつずつ着実に身を結んでおり、また先進的な事例を教育委員会が担うようになってきていると感じました。日経デュアルなどで取り上げられても恥ずかしくない教育ができているのだと実感しているところです。個々のご意見について改めてまとめる必要はないと思いますが、総じて申し上げるなら、これまでの成果を踏まえて平成30年度の重点施策を展開することで、現在抱えている課題や将来的に長い時間をかけて改善すべき課題について、見通しを持って解決に向かうことが出来ると感じました。また総合教育会議がそうした役割を果たしていると心強く思っております。

また、先日、中央教育審議会にて教育委員会制度改革を担当されている委員と、教育委員会制度が変わって良かった点は何か、お話をしてみました。そこで総合教育会議が果たしている役割について述べさせていただいたところ、素晴らしい評価であり、豊島区の事例は大変貴重だとおっしゃっていただきました。高野区長におかれましては、社会的にも総合教育会議が評価されていること、重点施策が全国的な課題に対応していることを改めて認識していただければと思います。以上です。

○高野区長

私からもひとつご報告させていただきます。インターナショナルセーフスクールについて予算特別委員会で「総合教育会議で全校化すべきだ」という意見があったようだが、経費がかかりすぎるのではないかと、という厳しい指摘がありました。確かに全校で認証を取得するのは財政負担が大きく検討が必要な一方で、将来的には全校で実施したいという考えもあり、まだ調整中ではあります。しかし、藤原委員からご指摘がありましたように、セーフスクールは将来への重要な投資です。こうしたメッセージの発信がまだ弱いと感じています。すぐに結果が表れるわけではありませんが、投資としての側面をさらに強調すべきだと思います。こうしたことから、議員の先生方もどのようなことが総合教育会議で議論されているのか関心を持っていると思います。

それでは、委員の皆様からのご意見を踏まえ、区長部局と教育委員会が連携して取り組んでいく「平成30年度豊島区教育委員会重点施策」について、これを了承したいと思います。いかがでしょうか。

○各委員

異議はありません。

○高野区長

それでは、続いて、議題2「平成30年度豊島区教育委員会教育目標」について、事務局

より説明願います。

○庶務課長

平成30年度の教育目標につきましては、議題1の重点施策とともに、次回の総合教育会議で審議を予定しております「平成30年度豊島区教育大綱」の中に盛り込んでいく予定となっております。本日の審議を受けて、教育目標を各学校に提供し、教育課程を編成することになっております。説明は以上です。

○高野区長

ただいま事務局より「平成30年度豊島区教育委員会教育目標」についてご説明がございましたが、これについてはよろしいでしょうか。

○各委員

異議はありません。

○高野区長

ありがとうございます。最後に三田教育長よりまとめをお願いいたします。

○三田教育長

先程高野区長から、セーフスクールについての議会でのやり取りがあったというお話がありました。教育においては、施策がどのような考え方に基づいているのか、それが子供たちにどのような変化や成長をもたらすのか、わかりやすく説明出来るよう日頃からまとめておく必要があると思っております。

私は「発信する教育委員会」を目指し、資料をすぐにホームページにアップロードするなどの努力をしておりますが、本日高野区長のお話を伺い、改めてメッセージ性が重要であると思いました。セーフスクールの出発点は、1,500件を超える事故やけがに対し事後的な対応だけではなく、子供たちが主体となり、学校や地域が一体となってデータに基づいて対策を考えるというものでしたが、セーフスクールは学校数が増えれば比例して増えるというのではなく、メッセージのさらなるパワーアップが必要だと思いました。

○高野区長

セーフスクールの経費の件は、セーフスクールが素晴らしい取組みであることを踏まえつつ、全校で実施した場合、財政負担がどの程度になるかを質問されたものであります。セーフスクールは将来への投資である点を説明することでご理解いただけるとは思いますが、教育委員会でもこれらの課題を整理してもらえればと思います。

他にご意見はございますか。

○各委員

ありません。

○高野区長

最後に、日常生活の中でICTを活用することが当たり前の世の中となっている中で、子供たちが社会で生きていくために必要な資質・能力を育むためにも、学習活動において日常的にICTを活用出来る環境を整備していくことが重要であると考えます。

もう一つは、先月、行われた「第1回子どもスキップまつり」は1,500人もの来場があり、大盛況でした。スペースが限られておりますから、複数日の開催とするなど、来場者に満足していただけるよう検討してもらえればと思います。消滅可能性都市として名指しされてから4年たちましたが、共働き世代が子育てしやすいまちランキング1位になるなどして、子どもスキップへの注目は高まっていると思います。今後もこの成果を持続出来るよう、待機児童ゼロとともに子育て環境をより充実できればと思っております。

以上をもちまして、第3回豊島区総合教育会議を終了いたします。委員の皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。